

「基礎学力アップ教室」報告（2014年度 前期）

参加者数 のべ752名

基礎学力支援者

●実施講座（人数はのべ人数）

1	2年生『一般教養試験対策（数的処理）』		
	日時：4/9（水）～4/30（水）	人数：2年 50名	場所：CDセンター他
	内容 ①柔軟な思考力を養う数学パズル問題 ②条件判断、論理判断の基本問題 ③基本的な数的処理問題		
2	1年生『基礎学力 ①文章力（読み解く力）＜その1＞』		
	日時：5/13（火）～5/27（火）	人数：1年 246名	場所：CDセンター他
	内容 ①新聞コラム記事『宇宙人とのコンタクト』を題材にした穴埋め・文章の順序整理問題 ②熟語パズル		
3	1年生『基礎学力 ②数的処理の力を高める』		
	日時：6/3（火）～6/17（火）	人数：1年 241名	場所：CDセンター他
	内容 ①『誕生日当てカード』で数の不思議と2進法 ②『暗号解読』でパズルのセンス ③『平均問題』で計算の基礎		
4	1年生『基礎学力 ③文章力（読み解く力）＜その2＞』		
	日時：6/24（火）～7/8（火）	人数：1年 215名	場所：CDセンター他
	内容 ①キリスト教保育誌の記事『子どもと共にある保育の希望』を題材にした穴埋め・文章の順序整理問題 ②熟語パズル		

●振り返り

前期 基礎学力支援

2年生 『一般教養試験対策（数的処理）』全12コマ 50名参加

- ・数学が苦手な学生は多いが、数学をほとんど使わないパズルのため、多くの学生がケースに分けて考えるやり方や、論理的な思考方法を学んでいくことができた。
- ・ヒントを与えながら問題を解いていったが、最後は自力で解くことで、解けた喜びを感じる学生が多かった。

1年生 『基礎学力：文章力（読み解く力）、数的処理の力』全27コマ のべ702名参加

- ・文章力（読み解く力）では、2回に分けて、普段、新聞や文章を読まなくなっている学生に、文章とじっくり向き合い、意味を考え、文章のつながりを理解する機会とした。また、使われている言葉にも注目して貰った。
- ・数的処理では、2進法の応用である『誕生日当てカード』で数学の不思議さや面白さに気付く学生も多かった。アルファベットを用いた暗号問題は、学生がルールを導き出した時の爽快感を味わっていた。
- ・（『文章力』学生の感想）「はじめはできない・・・と思っていたが、周りの人と一緒に考えると楽しくなっていた。次から次へと脳の引き出しから言葉を出していったので、自信がいった。」
- ・（『数的処理』学生の感想）「新しい発見ができ、理解した時の喜びはすごかった。柔軟性が必要だと思った。」